

平成28年度
一級建築施工管理技士
(実地試験)

問1、問2 解答参考例

問題1

建築工事の施工者に対して、建築物の施工品質の確保が強く求められている。あなたが経験した**建築工事**のうち、発注者や設計図書等により要求された品質を実現するため、品質計画に基づき**品質管理**を行った工事を**1つ**選び、工事概要を具体的に記入したうえで、次の1. から2. の問いに答えなさい。

なお、**建築工事**とは、建築基準法に定める建築物に係る工事とし、建築設備工事を除くものとする。

〔工事概要〕

- イ. 工事名
- ロ. 工事場所
- ハ. 工事の内容（新築等の場合：建築用途、構造、階数、延べ面積又は施工数量
主な外部仕上げ、主要室の内部仕上げ）
（改修等の場合：建物用途、主な改修内容、施工数量又は建築規模）
- ニ. 工期（年号又は西暦で年月まで記入）
- ホ. あなたの立場

概要については平成18年度から同じ設問形式なので省略致します。

『平成18年度実地試験解答参考例』及び『経験記述のポイントテクニック集』を御参照ください。

1. 工事概要であげた工事で、あなたが担当した工種において実施した**品質管理活動**の事例を**2つ**あげ、次の①から③についてそれぞれ記述しなさい。
ただし、2つの品質管理活動は、それぞれ異なる内容の記述とすること。
 - ① 発注者や設計図書等により**要求された品質**を満足させるために特に設定した**品質管理項目**を、**工種名**をあげて具体的に記述しなさい。
 - ② ①で設定した品質管理項目について**取り上げた理由**を具体的に記述しなさい。
 - ③ ①で設定した品質管理項目をどのように管理したか、その**実施した内容**を具体的に記述しなさい。

解答例

（平成20年度・平成23年度・平成26年度の経験記述問題参照）
（一問一答式参照）

【1】

①躯体工事：外壁の防水性能

②外壁のコールドジョイントは防水性能定価の要因となり、コンクリート打設時間の管理がコールドジョイント発生を抑制出来るため。

③打込み継続中の打重ね時間間隔（外気温が27℃であったので120分以内）を厳守して打設し、チェックリストに記録した。

【2】

①仕上げ工事：内壁仕上げの精度と美観性

②スタッドの間隔が大きすぎると、ボードの暴れが大きく、間仕切壁の振動も大きくなり、最終的に内壁仕上げの精度・美観性に大きく影響するため。

③ボード1枚貼りであったため、スタッド間隔が300mmであることをスケールで確認するとともに、抜き取りで建て込み位置を確認し、±5mm以内であることを確認した。

2. 工事概要にあげた工事にかかわらず、あなたの今日までの工事経験に照らして、品質管理目標、品質管理項目及び活動内容を協力業者に、**周知するため**及びそれらに基づいて施工されていることを**確認するための方法・手段**を具体的に記述しなさい。なお、1. ③の「実施した内容」と同一の記述は不可とする。

解答例

毎朝、工事前のミーティングにて、その日に行う工事内容及び品質管理内容の確認を行い、現場監督が午前、午後と2回のパトロール内でチェックを行った。

問題2

次の1. から3. の設備又は機械を安全に使用するための**留意事項**を、それぞれ**2つ**具体的に記述しなさい。

ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、保護帽や安全帯などの保護具の使用、資格、免許及び届出に関する記述は除くものとする。

1. ロングパンエレベーター
2. 高所作業車(クローラ式の垂直昇降型)
3. バックホウ(バケット容量 0.5 m³程度)

解答例

1. ロングパンエレベーター

- ①ブレーキ・クラッチ等の作動状況を確認する。
- ②積載物の位置、固定状況を確認する。

2. 高所作業車(クローラ式の垂直昇降型)

- ①高所作業車からの資材の飛来落下災害を防止する為、立入禁止区域を設ける措置を行う。
- ②許容積載荷重を超えていないか確認をする。

3. バックホウ(バケット容量 0.5 m³程度)

- ①バックホウの旋回範囲をカラーコーン・コーンバーにて区画を行い、作業員との接触防止の措置を行う。
- ②バックホウの転倒防止の為、地盤の水平度及び地耐力の確認を行う。